



経営戦略 > 百貨店事業革新

“百貨店の未来”が、ここにある。



未来を見据えた、大丸心齋橋店本館建替え

百貨店が抱える複合的課題克服に向けた、百貨店事業革新の象徴と位置づけるビッグプロジェクト——2019年9月20日、大丸心齋橋店新本館は、店舗空間、店づくりからオペレーションまで「伝統」と「革新」が融合された、これまでに類を見ない“エクスクルーシブ”な店舗として新たに生まれ変わります。外観および内装の一部には、かつての心齋橋店を彩った“ヴォーリスの建築美”を随所に活かしながら、現代のデザインを融合させ、リアル店舗ならではの“体験価値”を提供する



孔雀のレリーフ

商業空間を創造します。

店づくりのコンセプトは「Delight the World世界が憧れる心齋橋へ」とし、心齋橋店の強みである富裕層や訪日外国人のお客様への対応をさらに強化しながら、“生活を積極的に楽しむすべてのお客様”をターゲットとして設定しています。MD構成では、ラグジュアリー、化粧品、およびデパ地下・飲食において展開面積とブランド数を大幅に拡充します。化粧品はメインフロアだけでなく、複数のフロアにおいてゾーンを構築します。また、デパ地下・飲食はおよそ半分を新規ブランドで構成するほか、フードホールなど“体験型消費”を意識し



エレベーターホール



7階 水晶塔

た飲食・物販融合型のMDを充実させます。その他のカテゴリーでは、従来の性別やアイテム別に構成された売場づくりを見直すとともに、新規ブランドも積極的に導入。関西初出店37店舗、新業態50店舗を含む370店舗を展開します。

革新的ハイブリッド型ビジネスモデル

一方、ビジネスモデルは、従来の百貨店とはまったく異なり、全体面積の約65%を定期賃貸借の売場で構成するといった斬新なレイヤー構造をベースとしたものとなります。伝統的な百貨店は、かつては買取が主体でしたが、その後在庫を持たない消化仕入という取引形態が現れ、80年代にはその割合が8割を占めるようになりました。しかし、今日のような低成長かつ不確実性の高い時代には、消化仕入への過度な依存は新規性あるマーケットへのチャレンジを疎かにするだけでなく、収益性の低下を引き起こすといったリスクを高めることにもつながります。そのため、店舗の魅力化と収益の最大化を実現する新たなビジネスモデルとは何かを追求し、そのひとつの答えが心齋橋店新本館で具現化することになったのです。お客様の視点ではまったくのシームレスでありながら、買取・消化仕入の利点と定期賃貸借の利点を最適バランスでミックスした、新時代のハイブリッドな百貨店ビジネスモデルを構築します。

そして、この新たなトライアルで得られた成果を、各店舗やエリア特性によってカスタマイズしながら、“拡張性ある新たな百貨店ビジネスモデル”として、順次展開していきたいと考えています。

ESG視点のフラッグシップ店舗としても

当社は「持続可能な社会」の実現に向け、当社として優先すべき重要課題を5つのマテリアリティ^(※1)として特定し、



地下2階 フードホールイメージ

その成果創出に全社をあげて取り組んでいますが、この心齋橋店新本館はそうした視点による店づくりであることもポイントです。具体的には、館内で使用するすべての電力に再生エネルギーを使用するほか、館内照明はバックヤードを含め、すべてLED化をはかります。また、館内物流の一括管理による納品作業時間の削減や搬出入の混雑解消、さらに環境配慮型包装資材の利用促進、エコフ^(※2)活動による衣料品回収ボックスの常設化など、お客様やお取引先のご協力も得ながら低炭素・循環型社会への取り組みを積極的に展開してまいります。

※1) 当社の5つのマテリアリティとは:「低炭素社会への貢献」「サプライチェーン全体のマネジメント」「地域社会との共生」「ダイバーシティの推進」「ワークライフバランスの実現」

※2) 当社が進める衣料品・くつ・バッグなどのリサイクルキャンペーン

2021年春には北館にパルコが登場

新本館開業後、現在百貨店を展開している北館は改装工事に入り、2021年春に核テナントをパルコとする不動産賃貸モデルとして新たに誕生する予定です。北館は地下2階、地上14階のフロア構成となりますが、「パルコ」はそのうち地下2階から地上7階の大型核テナントとして出店します。大阪地区はパルコ業態にとっての空白地帯で、これまで多くの地元のお客様からパルコの出店が強く待ち望まれていました。この取り組みを通じ、さらなるグループシナジーの創出拡大をはかっていきます。同時に、新本館と北館を一体的に接続することにより、幅広いお客様を魅了する80,000mを超える複合商業施設を創造します。

いよいよ本格化する、“世界が憧れる心齋橋”としての街づくり。アーバンドミナント戦略の推進を通じて街の魅力化に貢献し、地域に新たな賑わいを創出します。